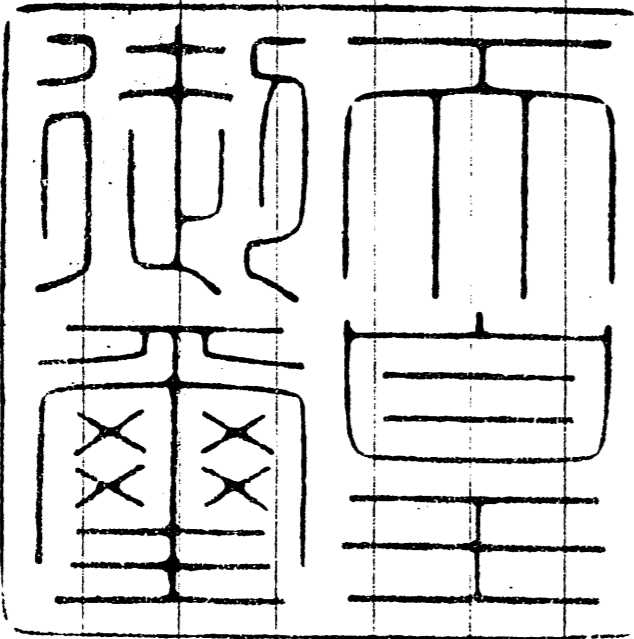


勅令第六百八號

朕海軍特別志願兵令ヲ裁可シ  
茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十八年七月二十七日

日

内閣總理大臣 東條英機  
海軍大臣 嶋田繁太郎

勅令第六百八號

海軍特別志願兵令

第一章 總則

- 第一條 戶籍法ノ適用ヲ受ケザル帝國臣民タル男子ニシテ海軍ノ  
兵役ニ服スルコトヲ志願スルモノハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ  
銓衡ノ上之ヲ特別志願兵ニ採用シ海軍兵籍ニ編入ス
- 第二條 特別志願兵ノ服スベキ兵役ハ現役及豫備役又ハ第一補充  
兵役竝ニ第一國民兵役トス
- 第三條 特別志願兵ノ兵籍ハ之ヲ其ノ本籍地ノ海軍特別志願兵徵  
募區ヲ管轄スル管備府ニ置ク
- 第四條 特別志願兵ノ採否ノ決定、再選役ノ許否ノ決定、轉役及

内閣

免役ノ處分ハ在籍警備府司令長官之ヲ行フ

第五條 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ服従スルコトヲ得ズ

第二章 服役

第六條 特別志願兵ノ現役ハ三年トシ現役兵トシテ採用セラレタル者之ニ服ス

豫備役ハ十二年トシ現役ヲ終リタル者ハ別ニ辭令ヲ用ヒズ之ヲ豫備役ニ服セシム

第一補充兵役ハ十七年四月トシ第一補充兵トシテ採用ヒラレタル者之ニ服ス

豫備役又ハ第一補充兵役ヲ終リタル者ニシテ年齢四十年未滿ノ

者ハ別ニ辭令ヲ用ヒズ之ヲ第一國民兵役ニ服セシム

第七條 現役又ハ第一補充兵役ノ期間ハ現役兵又ハ第一補充兵トシテ兵籍ニ編入セラレタル月ノ一日ヨリ之ヲ起算ス

第八條 現役特別志願兵ハ第六條ニ規定スル現役期間滿ツルモ引續キ數次再現役ヲ志願スルコトヲ得

海軍特修兵令ニ依リ服役ノ義務ヲ有スル者ハ第六條ニ規定スル現役期間滿ツル日ノ翌日ヨリ其ノ義務ノ終ル日迄ヲ一期トシ再現役ニ入りタルモノト看做ス

第九條 海軍志願兵令第九條、第十條、第十一條第三項、第十二條、第十三條、第十六條乃至第十八條及第二十一條、兵役法第十九條、第二十條及第二十一條第一項並ニ兵役法施行令第三十

附

六條乃至第三十八條及第四十一條ノ規定ハ特別志願兵ノ服役ニ  
之ヲ準用ス但シ海軍志願兵令第十七條及第十七條ノ二中豫備役  
トアルハ豫備役第一補充兵役トシ同令第二十一條竝ニ兵役法施  
行令第三十六條及第三十八條第三項中鎮守府司令長官トアルハ  
警備府司令長官トス

### 第三章 徵募

第十條 特別志願兵ノ徵募ハ年齢十六年以上二十一年未滿（昭和  
七年律令第二號ノ適用ヲ受クル者ニ在リテハ二十五年未滿）ノ  
者ニ就キ之ヲ行フ

前項ニ規定スル年齢ハ採用ノ年ノ十二月一日ニ於ケル年齢トス  
第十一條 特別志願兵トシテ徵募スベキ海軍兵ノ兵種ハ左ノ各號

ニ掲グル種別ニ從ヒ志願者ノ身材、技能、職業其ノ他ヲ參酌シ  
所管警備府司令長官之ヲ定ム

- 一 水兵
- 二 整備兵
- 三 機關兵
- 四 工作兵
- 五 衛生兵
- 六 主計兵

第十二條 左ニ掲グル者ハ特別志願兵ノ徵募ニ應ズルコトヲ得ズ  
一 陸軍ノ豫備役及第一國民兵役ニ在ル者竝ニ軍隊ニ於テ教育  
ヲ受ケタル第一補充兵

内閣

二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者又ハ刑法第百八十五條ノ罪  
ヲ犯シ刑ニ處セラレタル者

三 刑事被告人

第十三條 左ニ掲グル者ハ之ヲ特別志願兵ニ採用スルコトヲ得ズ

一 身體完全ナラザル者

二 志操確實ナラザル者

三 品行方正ナラザル者

四 略國民學校初等科修了程度以上ノ學力ナキ者

五 試験検査ニ合格セザル者

六 前各號ニ掲グル者ノ外海軍兵ニ適セズト認ムル者

第十四條 海軍大臣ハ海軍特別志願兵徵募區（以下之ヲ徵募區ト

稱ス）ヲ定メ鎮海警備府又ハ高雄警備府ヲシテ之ヲ管セシム

第十五條 海軍大臣ハ各徵募區所管ノ警備府司令長官ヲシテ特別

志願兵ノ徵募ヲ掌理セシム

第十六條 現役特別志願兵ハ採用ノ上ハ之ヲ所管警備府ノ海兵團

ニ入團セシム

第十七條 海軍大臣ハ毎年採用スベキ特別志願兵ニ付其ノ役種別

兵種別及入團期別ノ員數ヲ定メ之ヲ所管警備府司令長官ニ告達

ス

第十八條 現役特別志願兵ノ入團期日ハ四月一日及十月一日トス

但シ海軍大臣ハ必要アル場合ニ於テハ之ヲ變更スルコトヲ得

第十九條 警備府司令長官ハ現役特別志願兵ニシテ入團ノ際現役

ニ適セズト認ムルモノアルトキハ其ノ現役ヲ免ジ之ヲ第一補充  
兵役ニ服セシメ又ハ其ノ採用ヲ取消スコトヲ得

警備府司令長官ハ現役特別志願兵ニシテ入團ニ際シ疾病其ノ他  
避クベカラザル事故ニ因リ入團シ難キモノアルトキハ二十日以  
内其ノ入團ヲ延期スルコトヲ得

#### 第四章 召集

第二十條 兵役法第五十四條、第五十五條、第五十六條第一項、  
第五十七條第一項、第五十八條第一項及第六十條乃至第六十三  
條竝ニ兵役法施行令第四章（第二百十條乃至第二百一十一條ヲ除  
ク）及第四百四十三條ノ規定ハ特別志願兵ノ召集又ハ簡閲點呼ニ  
之ヲ準用ス但シ同令第二百二十二條中本籍所在ノ師管又ハ鎮守府

管區トアルハ本籍所在ノ徵募區、他ノ師管又ハ鎮守府管區トア  
ルハ他ノ徵募區（海軍志願兵ノ徵募區ヲ含ム）、當該師管又ハ  
鎮守府管區トアルハ當該徵募區、鎮守府司令長官トアルハ警備  
府司令長官若ハ鎮守府司令長官トシ其ノ他ノ規定（第一百十八條  
第一項第二號ヲ除ク）中鎮守府司令長官トアルハ警備府司令長  
官トス

#### 第五章 雜則

第二十一條 特別志願兵ニ對スル他ノ法令ノ適用ニ付テハ在籍鎮  
守府又ハ在籍鎮守府司令長官ニ關スル規定ハ在籍警備府又ハ在  
籍警備府司令長官ニ關スル規定トス

第二十二條 海軍大臣ハ朝鮮ニ在リテハ道知事、警察署長、府尹

附  
則

區長及邑面長、臺灣ニ在リテハ州知事、廳長、郡守、警察署長  
及支廳長ヲシテ特別志願兵ノ徵募其ノ他本令施行ニ關スル事務  
ノ一部ヲ擔任セシムルコトヲ得

附  
則

本令ハ昭和十八年八月一日ヨリ之ヲ施行ス